

第55回(2008年度)広島県社会福祉夏季大学開催要綱

「みんなで生きる！」

～ ありがとう。どういたしまして、こちらこそ。 ～

1. 主 旨

地方分権や行財政改革とともに、介護保険制度や年金・医療制度、障害者自立支援制度等の改革が進み、昨今の社会福祉の環境は快適なものでなくなっている。

こうしたなかで、地域住民が不安なくその人らしく生きていける基盤整備が早急に求められているため、これからの地域福祉の推進には、公的な福祉サービスだけではなく、住民による地域福祉活動の重要性が再認識されているところである。

本講座では、安心できる地域社会の実現には、住民どうしの「支えあい」が必要不可欠であり、自分たち自身が支えあい活動の主役であるということ学ぶ。

2. 主 催

社会福祉法人 広島県社会福祉協議会

3. 共 催

社会福祉法人 中国新聞社会事業団

4. 期 日

2008(平成20)年7月31日(木)～8月1日(金)

5. 会 場

中国新聞ビル7階 中国新聞ホール

〒730-8677 広島市中区土橋町7番1号 TEL (082) 236-2455

6. 参加対象・定員 (各日とも定員500人)

- (1) 福祉・保健・医療・教育・司法・行政関係者
- (2) 学生および社会福祉に関心のある人

7. 日程及び内容

	9:45	10:15	:30	12:00	:50	14:20	:30	16:00
第1日	7/31(木)	受付	開会	講義 1 (1)	昼食	講義 2 (2)	休憩	講義 3 (3)
	10:00		:30	12:00	:50	14:20	:30	16:00

第2日	8 / 1 (金)	受付	講義 4 (4)	昼食	講義 5 (5)	休憩	講義 6 (6)	閉会
-----	--------------------	----	-------------	----	-------------	----	-------------	----

(1) 講義1 『災害に強い地域をつくる！』

講師：大阪大学大学院人間科学研究科 准教授 渥美 公秀

災害発生時の迅速な復興支援に向けた取り組み，更には住民の災害への意識改革が近年強く求められている。ここでは，実際の事例等を踏まえ，災害に強い地域のあり方，日頃からの住民どうしのつながりの重要性について学ぶ。

(2) 講義2 『障害のある人が当たり前で暮らせるために』

講師：九州産業大学国際文化学部臨床心理学科 教授 倉知 延章

近年，障害者雇用促進法の改正等により，「福祉から雇用」へ向けた障害者就労支援のあり方について活発な議論がなされている。ここでは，障害のある人が，地域社会のなかで安心して暮らしていくためには，地域に何が求められるのかについて考える。

(3) 講義3 『これからの地域福祉に求められるもの』

講師：龍谷大学社会学部地域福祉学科 教授 筒井 のり子

これからの地域福祉には，住民（当事者）が地域で自己実現していくために，行政による公的サービスだけではなく，住民主体による地域福祉活動との協働が必要不可欠である。ここでは，求められる地域での「支えあい活動」のあり方について再考する。

(4) 講義4 『認知症とともに暮らし続ける』

講師：認知症介護研究・研修東京センター主任研究主幹 永田 久美子

今やその正しい理解が広がりつつある「認知症」について，地域で支える視点が大切になっている。ここでは，認知症の人やその介護者家族に限らず，子どもたちや障害のある人々も，安心して暮らせる地域づくりについて考える。

(5) 講義5 『住民のニーズに応えられる福祉のまちづくりとは？』

講師：駒ヶ根市社会福祉協議会 福祉活動振興係長 片桐 美登

地域のすべての人が，自分の意志で自由に行動し，安心して社会参加できるまちづくりとはどのようなものなのか。ここでは，誰もが住みよいまちづくりへ向けた取り組みについて学ぶ。

(6) 講義6 『地域で子育てを支える』

講師：日本福祉大学子ども発達学部子ども発達学科 教授 渡辺 颯一郎

家族形態の変化や少子化の進行等により，近年，子育てに関する問題が複雑化，深刻化している。ここでは，子どもを産み，育てることへの不安感を軽減し，逆にそのすばらしさを発信するためにこれから求められる地域子育てのあり方について学ぶ。

8. 参加申込

(1) 負担金(税込)

	前 納	当 日
2日間とも参加の場合	1人 5,000円 (学生 3,000円)	1人 5,500円 (学生 3,500円)
1日のみ参加の場合	1人 2,500円 (学生 1,500円)	1人 3,000円 (学生 2,000円)

※学生とは、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、大学、高等専門学校、特別支援学校、専修学校の学生で、社会人を除く。

(2) 申込方法

- ① 別紙参加申込書に必要事項を記入し、事務局まで申し込むこと。(FAX可)
- ② 申込締切日までに負担金を次の口座に郵便振り込みをされると、入金確認後に受講通知を送付するので、当日必ず持参すること。領収書は、振込用紙をもってこれに代える。なお、本会発行の領収書が必要な場合は、その旨申込書に明記すること。
- ③ 講座の前日までに受講通知が届かない場合は事務局に照会すること。
- ④ 申込締切日までに負担金の振込みがない場合は、参加申込みがあっても当日扱いとなるので留意すること。

郵便振込口座番号	01320-6-17224
名 義	(社福) 広島県社会福祉協議会

(3) 申込及び負担金振込締切日

7月18日(金) ※但し、定員になり次第締め切る。

9. その他

- (1) 当日はOHP(要約筆記)および手話通訳を用意しているので、利用者は参加申込書備考欄に明記すること。
- (2) 当日、業者が弁当を販売するので、弁当代金は事前振り込みをしないで当日現金払いすること。なお、概数把握の必要があるので申込用紙に希望を記入すること。(1食650円)
- (3) 宿泊等については各自で確保すること。
- (4) 負担金の払戻しはしないので留意すること。
- (5) 参加申込書に記載された個人情報、運営管理の目的のみに使用し、講座終了後は本会でシュレッダー処理を行う。
- (6) この夏季大学は、「平成20年度社協役員・評議員研修」を兼ねる。

10. 事務局

広島県社会福祉協議会 福祉部/地域福祉課(社会福祉夏季大学係)
〒732-0816 広島市南区比治山本町12-2
TEL 082-254-3414(直) FAX 082-256-2228

【会場地図】



■ JR広島駅から

- 路面電車；「**2**」広電宮島」「**3**」広電西広島（己斐）」「**6**」江波」行き20分
「本川町」又は「土橋」電停下車 徒歩10分
- バス；広島バス **24**「吉島営業所」「吉島病院」行き15分
「平和公園前」バス停下車 徒歩5分
- タクシー；約13分

第55回広島県社会福祉夏季大学参加申込書

団体名 _____

連絡先(FAX 番号) () () ()

連絡先 E-mail アドレス _____

No	ふりがな 名 前	住 所	連絡先 FAX	参加日	昼食希望	備考
1				7/31 8/ 1	7/31 8/ 1	
2				7/31 8/ 1	7/31 8/ 1	
3				7/31 8/ 1	7/31 8/ 1	
4				7/31 8/ 1	7/31 8/ 1	
5				7/31 8/ 1	7/31 8/ 1	
6				7/31 8/ 1	7/31 8/ 1	
7				7/31 8/ 1	7/31 8/ 1	
8				7/31 8/ 1	7/31 8/ 1	
9				7/31 8/ 1	7/31 8/ 1	
10				7/31 8/ 1	7/31 8/ 1	

※申込用紙が不足する場合は、コピーして使用してください。

※参加日、昼食希望欄へは該当箇所に○印を付けてください。

※整理の都合上、振込日・金額・振込人名義を記入してください。

合 計 _____ 円を _____ 月 _____ 日に

_____ 名義で振込み ます・ました。